

# I 沿革

明治 4 1 (1908) 年	6 月	和歌山県立図書館、和歌山城内に創設、開館
昭和 1 3 (1938) 年	6 月	2 代目和歌山県立図書館、和歌山城内で建替え開館
昭和 2 6 (1951) 年	1 1 月	紀南分館設置
昭和 2 8 (1953) 年	9 月	自動車文庫「たちばな号」の運行を開始
昭和 2 9 (1954) 年	7 月	紀南分館自動車文庫「はまゆう号」の運行を開始
昭和 3 9 (1964) 年	5 月	那賀町立図書館内に、紀北分館を設置、開館
昭和 4 7 (1972) 年	1 2 月	紀南分館新館開館
昭和 5 3 (1978) 年	6 月	青少年文庫を開設
昭和 5 5 (1980) 年	5 月	青少年文庫の一部として性教育文庫を開設
平成 4 (1992) 年	1 1 月	図書館ボランティア養成講座を開催
平成 5 (1993) 年	7 月	新県立図書館開館 第 1 次図書館コンピュータシステム導入
平成 6 (1994) 年	6 月	和歌山県公共図書館協会が発足
	1 1 月	手づくり紙芝居コンクールを開催、以後毎年開催
平成 7 (1995) 年	7 月	「和歌山県立図書館協議会条例」制定、翌年 3 月第 1 回協議会を開催、以降毎年開催
平成 8 (1996) 年	2 月	新館開館からの延べ入館者数が 1 0 0 万人を突破
	3 月	本館管内市町村の図書館活動活発化を目指し、自動車文庫「たちばな号」運行事業を、宅配一括貸出事業に変更
平成 8 (1996) 年	4 月	「図書館情報オンラインシステム」(市町村協力貸出システム)稼働
平成 1 0 (1998) 年	7 月	県立図書館コンピュータシステム更新(第 2 次)
	1 1 月	新館開館からの延べ入館者数が 2 0 0 万人を突破
平成 1 1 (1999) 年	9 月	視覚障害者サービス充実のため書籍自動音訳装置を導入
	1 0 月	日本観光協会より「はまゆう号」が「動く観光図書館事業」におけるモデル図書館として選定される
平成 1 3 (2001) 年	8 月	新館開館からの延べ入館者数が 3 0 0 万人を突破
	1 0 月	「和歌山地域コンソーシアム図書館」に参加
平成 1 6 (2004) 年	1 月	県立図書館コンピュータシステム更新(第 3 次)
	1 月	ホームページの蔵書検索システムを更新
	2 月	メールマガジンの配信を開始
	3 月	ネットサービス(Web 予約)を開始
	7 月	新館開館からの延べ入館者数が 4 0 0 万人を突破
平成 1 7 (2005) 年	1 月	紀南分館が県立情報交流センター Big・U 内へ移転し、 「県立紀南図書館」に名称変更
	1 月	開館時間を一部延長(土・日曜日を 18 時まで開館に変更)

平成17 (2005) 年	3月	那賀町立図書館内に設置の紀北分館を閉館
平成19 (2007) 年	3月	新館開館からの延べ入館者数が500万人を突破
	4月	祝日開館開始
平成20 (2008) 年	6月	開館100周年
	7月	開館100周年記念式典を開催
平成21 (2009) 年	1月	県立図書館コンピュータシステム更新(第4次)
	4月	ふるさと和歌山応援寄附による「ふるさと夢文庫」開設
	11月	新館開館からの延べ入館者数が600万人を突破
平成22 (2010) 年	2月	太陽光発電設備稼働
平成23 (2011) 年	2月	紀南図書館において、新館開館からの延べ入館者数が100万人を突破
	11月	図書館評価開始
	10月	ふるさと和歌山応援寄附による「きのくに虹文庫」開設
平成24 (2012) 年	3月	「県立図書館がめざす図書館像」を公表
平成25 (2013) 年	1月	個人貸出上限冊数を5冊から10冊に変更
	6月	メディア・アート・ホールの活性化のためコーディネーターを公募し各種イベントを開始
	9月	県立図書館主催「県立図書館室内楽定期演奏会」を開催以降、シリーズ化して開催
平成26 (2014) 年	1月	県立図書館コンピュータシステム更新(第5次)
	6月	メディア・アート・ホール活性化のため、澤和樹音楽監督が就任
平成27 (2015) 年	4月	児童室の開室時間の延長(平日17時30分から19時まで開室に変更)
平成28 (2016) 年	8月	公益財団法人読売日本交響楽団と和歌山県が「南葵音楽文庫」の寄託契約を締結、一部(書籍・楽譜)が県立図書館へ寄託される
平成29 (2017) 年	4月	開館時間の変更(開館時間を10時から9時に変更)